

情報交換「市」

- 「今、こんなことしてます」
ご無沙汰している方々へ“近況報告”
- 「こんなこと、感じてます。」
“社会教育主事有資格者として”

- 会員どうしの「絆」を結ぶ。紙面上の
“情報交換「市」”
- 「伝えたい!」「お願い。教えて!」
“伝言板”

「なんだろう?探検隊」

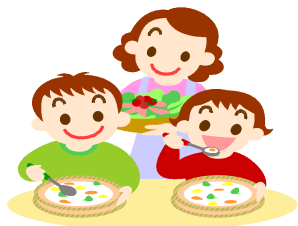
栃木市立栃木第五小学校 教諭 服部 雅弘

本校では、年間5回の土曜日に、栃木市第6コミュニティの青少年部と共催で「なんだろう?探検隊」を実施しています。

この活動は、地域のすばらしい能力をもった方々をボランティアとしてお招きし、普段なかなか学ぶことができない貴重な体験をしています。

今年度の第1回は、押し花インストラクターの渡邊さんたちをお招きして、「押し花カレンダーづくり」に挑戦しました。第2回は、学校のすぐ西を流れる永野川や学校にスズムシの音を取り戻そうと、スズムシ博士の小倉先生から飼育の仕方を学び、第3回は、育てたスズムシを放虫しました。第4回は、青少年部と民生児童委員の皆様にご案内いただきながら太平山でのカレー作りを実施しました。第5回は、同じく民生委員児童委員さんに教わりながら、家庭科室でそば打ちに挑戦しました。自分たちで作ったカレーやそばをおいしそうに食べていました。

子供たちは、普段体験できない興味深い活動に目を輝かせていました。毎年恒例となったこの行事、今となっては、五小ならではの地域と結びついた体験活動になっています。



「地域に支えられ」

県立小山南高等学校 教諭 佐山 浩行

本校は県内唯一のスポーツ科を有し日々、教科指導、情熱部活動、進路の3本柱の指針の基教育活動を実践している。学校全体での取り組みでも、ボランティア活動を積極的に実践している。スポーツ科の生徒も、スポーツボランティアで間々田地区のグランドゴルフ大会や間々田東小学校の体育的行事に参加させていただいている。

先日も運動会に参加させていただき、前日準備、運営補助等を行うことで、学校行事のノウハウを学ぶ機会があった。秋空の下での運動会。そのまた昔は地域の一大イベントであった。昨今は児童数の減少から昔ながらの一大イベント化してきている学校もあり、子ども、保護者、学校、そして地域が良いバランスを保ちながら実施されていた。

「地域との綱渡し」、かつて、講習で何度も耳にした言葉がよみがえった。講習を終え、全く社教主事として機能していなかったが本部テント近くの敬老席に歩み寄って地元の方々との会話から、「これってもしかしたら橋渡し」と感じた。私が会話をしていると生徒も輪に加わり、児童も「僕のおじいちゃんだよ、私のおばあちゃんだよ」といった具合に大きな輪になった。

「地域連携」、「地域の綱渡し」などという言葉から我々は何かイベントを開催することを優先しがちだが、身近にヒントが隠されていることを確認できた。また、小学生の笑顔も大きな刺激となった。

「先生方のネットワークづくりを」

独立行政法人教員研修センター
主任指導主事 磯 宜男

教員研修センターでの勤務も半年が過ぎました。各都道府県市から推薦された先生方がつくばに集まり、長期研修を行っています。職種、立場は違えど、この半年間でたくさんの先生方と出会い、コミュニケーションを通じて様々なことを学ばせていただきました。

現在は、主に学校教育に携わっていますが、人との交流、またネットワークの構築については、社会教育が目指すものと同様であると感じています。ですから、研修を企画運営していく上で、これら社会教育の視点を重視して仕事をやらせていただいております。

研修を修了した先生方の表情からは、いつも達成感と充実感が…。おそらく学びはもちろんのこと、仲間との交流が有意義なものになっていると思われまます。今後も先生方同士のネットワークづくりのお手伝いができたらと考えています。



< 研修の様子 >



